

会 議 要 旨

(1/2)

会議の名称	第2回川越市観光振興計画審議会
開催日時	平成27年8月11日(火) 午前10時00分 開会 ・ 午前12時00分 閉会
開催場所	教育委員会室
議長(委員長・会長)氏名	会 長 溝尾良隆
出席者(委員)氏名(人数)	副会長 安島博幸、谷島賢 委 員 山田禎久、清水雅子、栗原裕子、井伊重之、中村仁 7人
欠席者(委員)氏名(人数)	松山潤、大野由美子 2人
事務局職員職氏名	産業観光部 部長 早川茂 同部観光課 課長 飯野英一、副課長 中孝 主任 久保田哲、主事 橋本恭輔
会議次第	1 開会 2 あいさつ 3 議事 (1)これまでの会議の結果報告 (2)次期川越市観光振興計画の素案について 4 閉会
配布資料	会議次第 資料1 次期川越市観光振興計画策定に係るこれまでの会議の結果について 資料2 第2次川越市観光振興計画(素案) 参考1 川越市観光振興計画審議会委員名簿 参考2 次期川越市観光振興計画(素案)に対するご意見

議 事 の 経 過

1 開会

2 あいさつ（溝尾会長）

3 議事

（1）これまでの会議の結果報告

事務局から開催してきた審議会や庁内会議等での主な意見を報告した。

（2）次期川越市観光振興計画の素案について

事務局から資料説明が行われ、次のような意見があった。

<川越市を訪れる外国人観光客について>

- ・外国人観光客は大きく増加しているが、外国人観光客の国籍が把握できれば良い。民間にデータ提供を依頼することも一つの方法だと思う。

<現観光振興計画の評価について>

- ・現観光振興計画の80の施策について、市役所内部の評価だけではなく、外部の目からも評価できるようにする必要がある。

<宿泊観光客について>

- ・外国人観光客が安い費用で宿泊できる施設を整備すれば、川越市の宿泊客も増加する可能性がある。
- ・川越市は宿泊できる場所が不足している状況なので、ゲストハウスなど他地域の事例を参考に宿泊に関する施策を打ち出していく必要がある。

<都市観光の視点について>

- ・都市観光の視点からクリアモールへの来訪者をどう捉えるのかを検討する必要がある。周辺地域から買物に来る方がいるので、この部分を無視すると観光客の一部分しか捉えていないことになる。

<観光と市民について>

- ・観光客、観光事業者、市民の3つの視点から検討することが必要となるが、基本方針に市民との関わりの視点が不足している。
- ・市民が自分の町に誇りを持てるものを磨き上げるもしくは作り出して、観光とのつながりを高めるなどの考えを打ち出していく必要がある。
- ・プロモーションなど人を呼び込む施策は重要だが、呼び込んだ観光客に何を見せるのかという視点も重要で、市民の力は欠かせない。

<人材育成について>

- ・観光を担うキーマンなど人材育成の視点が必要となる。一方で川越市には個々で力を持っている団体があり独自に活動している特徴がある。
- ・そういった関係者をつなぎ、市民も含めて、集まって議論できるような場が必要で、問題点が浮き彫りとなり、解決の糸口にもなる。

<次期川越市観光振興計画の計画期間について>

- ・10年後を見据えつつ、東京オリンピックまでの5年間に集中的に対応する施策を位置づける事務局案が良い。

4 その他

第3回審議会を11月下旬に予定しており、今回は、個別の施策を含めた次期観光振興計画の原案を提出する旨を連絡した。

5 閉会